

## 第2回 田原市都市計画マスタープラン策定委員会 次第

日時 平成19年12月17日(月)午後2:00~

場所 田原市役所 南庁舎4階 政策会議室

1. 都市整備部長あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 検討事項
  - (1) 第1回策定委員会の意見に対する対応について・・・資料1, 2, 3
  - (2) 都市づくりの理念と目標について・・・資料4
  - (3) 将来の都市構造について・・・資料4
4. 意見交換
5. その他
  - ・ 委員会メモについて

### 配布資料

資料1：第1回策定委員会の意見に対する対応について

資料2：第1回策定委員会議事要旨

資料3：都市計画マスタープラン現況編(素案)

資料4：都市づくりの理念と目標及び将来の都市構造について

資料5：会議メモ

## ◆H19.9.21 策定委員会議事要旨への対応

議事要旨 参照P	内容	対応・方針（案）	対応箇所 参照P
2	田原市らしいコンパクトシティについては現実を踏まえて議論しておく必要がある。	この発言内容は、重要な意見としてとらえ、本日の資料内において、「本市の目指すコンパクトシティのイメージ」を検討させていただきました。	資料4 P.7
3	公共交通の活用について、パークアンドライドだけでなく、渥美線周辺の利用、駅周辺の開発をどうするのかを検討する必要がある。	現況編で、現在検討中の駅周辺の整備構想、駅前通り線の整備構想図などのイメージ図を、準備が整い次第、追加させていただきたいと考えております。	資料3 P.62
3	全体に環境に関する記述が薄いのではないかと感じます。特に自然環境には特色のあるものがあり、もう少しきめ細かく書いてもよいのではないか。	公園、緑地の整備および景観形成に関する部分では、緑の基本計画における検討結果を尊重していきたいと考えております。	資料4 P.25
3	全体としてハードウェアに関する課題が多く、土地利用の規制のための法整備など、ソフト対策も含めたほうがよいのではないのでしょうか。	土地利用規制、大型商業施設の立地規制、にぎわいのある中心市街地の形成など、今後の都市づくりにおけるソフト対策はきわめて重要な役割を果たすものと認識しております。 これらの課題については、第1回で整理いたしましたので、第3回委員会「都市整備の方針」で検討していただくことになると考えております。	次回 第3回 委員会
3	市民参加なども計画作りの基本として謳ってありますが、課題としては具体的に挙げられていません。こうした点も含めてソフト面を充実させることが必要だと思います。	市民参加については、計画を策定するプロセスとして検討してまいりたいと考えております。 なお、全体構想策定後には、地域別構想の策定を予定しており、地域別懇談会等様々な住民参加の手法を取り入れながら策定を検討しております。	—
4	通勤・通学にもう少し利用されるものを目指していく必要があると思います。	公共交通の利用促進については、本市にとっても重要な課題となっています。 現在本市では、そのような課題を検討するため、田原市地域公共交通会議を設置しており、その会議の動向を注	資料4 P.8

		<p>視し、連携を図ることにより、計画策定に反映したいと考えております。</p> <p>(P&amp;R (パークアンドライド) や K&amp;R (キスアンドライド) に関しては次項)</p>	
4	<p>豊橋駅では渥美線と JR 線、名鉄線との相互乗り入れが進められています。そうなる、もっと便利になりますから、これに対応したまちづくりも必要ではないかと思えます。</p>	<p>計画内で、P&amp;R (パークアンドライド) や K&amp;R (キスアンドライド) を促進させる内容を明記するとともに、公共交通を今後重要な交通軸として位置づけ、まちづくりを推進する目標を明記していきます。</p>	<p>資料 4 P. 8</p>
5	<p>まちづくりについては、人口フレームを検討したうえで進めていただければと思います。</p>	<p>フレームに関する議論は、本日の検討議題となっています。</p>	<p>資料 4 P. 13</p>
5	<p>都市機能についての分析が少し不足しているのではないかと思います。商業機能、医療機関などの分布が示されていません。</p> <p>今後の考え方としては、分担・連携ということになると思えますので、整理していただきたいと思えます。</p>	<p>現況編で「公共・公益施設の配置状況」を追加・整理をさせていただきました。</p> <p>また、本市における都市のあり方として、市街地間の連携、市街化区域と市街化調整区域との役割分担などについても検討させていただきました。</p>	<p>資料 3 P. 82</p> <p>資料 4 P. 22</p>
6	<p>東三河の農業は石油や電力への依存度の高いのが特色で、農業における自然エネルギーの活用なども計画に含めると地域の特色がはっきりすると思えます。</p>	<p>本市では、風力や太陽光等自然エネルギーの活用などにこれまで取り組んでまいりましたが、産業、運輸部門でのエネルギー消費が全国に比べて多く、モータリゼーションとの関連も無視できないと考えております。</p> <p>特に、本市が目指す「コンパクトシティ」は、環境配慮の面からも注目されている考え方であり、自動車の利用を少しでも抑制し、持続可能な都市のあり方についての検討をさせていただきました。</p>	<p>資料 4 P. 8</p>
6	<p>上下水道のところでは管路の耐震化について述べられていますが、防災のところではそうした点についての記述がなく、ライフラインの確保といった視点で記述を追加してはどうかと思えます。</p>	<p>現況編で「ライフラインの確保」を記述いたしました。</p>	<p>資料 3 P. 81</p>

6	<p>市街化区域と市街化調整区域での人口分布にもよりますが、身近な公園や緑の分布などもう少し詳細に分析していただきたいと思います。</p>	<p>緑の基本計画における検討結果をきちんと踏まえて計画づくりを進めたいと考えております。</p> <p>特に、緑の基本計画において設定されている重点整備地区の考え方を本計画でも尊重導入してまいりたいと考えております。</p>	<p>資料3 P.93 資料4 P.25</p>
6	<p>道路についても全般的にはなく、何のためにどこどこを結ぶのかといったきめ細かい検討が必要だと思います。</p>	<p>今後、計画で目的等を明らかにしながら、検討して行く必要があります。第3回委員会「都市整備の方針」にて、検討していきたいと考えております。</p>	<p>次回 第3回 委員会</p>
7	<p>人口の将来推移が重要ですので、今後、検討をお願いします。</p>	<p>フレームに関する議論は、本日の検討議題となっています。</p>	<p>資料4 P.13</p>
7	<p>目的地に着くまでの景色を楽しむということも大切だと思いますが、道を走っていても海が見えません。花も植えられてはいますが、点でしかなく連続性がないと思います。</p>	<p>景観形成や魅力的な地域づくりなど、第3回委員会「都市整備の方針」でご検討いただくことになると思います。</p>	<p>次回 第3回 委員会</p>

◆委員会後、提出された委員メモへの対応

前回資料 P	意見内容	対応	対応箇所 参照P
P. 11	公共交通（路線バス・ぐるりんバス）の利用	利用実態の把握をしていきたいと考えており す	検討中
P. 19	データが水質のみであり、もう少し幅広いデータの収集が必要ではないか。（自然環境・景観）	景観への対応については、早急に景観基本計画の策定を行うべきものと考えております。 本計画においては、「緑の基本計画」において景観に関する記述が豊富であるため、これと連携して整理を進めたいと考えております。 自然環境への対応については、委員会でも意見が出ているため、計画の中で補足をさせていただきます。	資料4 P. 25
P. 20	家屋の分布状況 農業用ハウスが含まれているのではないか	事務局の誤りですので、何らかの資料を準備させていただきます。	検討中
P22. 23	「自然との共生」、「さらなる工業集積」、「三遠南信との連携」、「海岸（表浜、内浜）の活用」について記載してはどうか。	計画内で対応させていただきたいと考えております。	—
	遊休農地の活用を検討 ①市民農園等による活用、お年寄りに生きがい、②景観保全の立場からも	計画内で対応させていただきたいと考えております。	—